

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	徳永
	全体計画						経費区分		義務的経費		内線	3642
事務事業名	4294 母子通園訓練事業											
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課											
施 策	02020900 子育て環境の整備											
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	030298 民生費・児童福祉費・母子通園訓練施設費										
	事業	960000 母子通園訓練事業										
事業目的						事業概要・効果						
心身障がいのある児童が保護者とともに通園し、心身発達のための保育、機能訓練及び生活指導を通して生活に必要な力を向上させる。また、その保護者に対して相談に応じる等の支援を行い、総合的に児童の育成支援を図る。						心身障がいのある児童の保育、機能訓練及び生活指導を行い、これら児童の育成を促すことができた。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	利用延人数 332人
平成26年度 予定	平成27年度 予定
入園予定児童数 5人	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		402	396
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		402	396
人員数(人)	正規職員	0.9	0.1
	嘱託職員	0.0	0.9
	臨時職員	1.1	1.1
人員コスト	正規職員	6,172.2	685.8
	嘱託職員	0.0	2,452.5
	臨時職員	1,294.7	1,294.7
	計	7,466.9	4,433.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.1
総額		7,868.9	4,829.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	120	音楽療法士謝礼
11節 需用費	128	消耗品等
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	36	通園費補助
その他	118	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	120	音楽療法士謝礼
11節 需用費	137	消耗品等
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	139	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	心身に障がいのある児童には必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	心身に障がいのある児童には大変有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	必要最低限の経費で運営されている	

振り返り（決算年度の取組み課題）

心身障がいのある児童の保育、機能訓練及び生活指導を行い、これら児童の育成を促すことができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>心身障がいのある児童の保育、機能訓練及び生活指導を行い、これら児童の育成を促すことができた。次年度から、親子通園施設「くれよん」と改称、発達障がい疑われる児童も受け入れ、利用の拡大を図る。</p>		<p>心身発達のための保育、機能訓練及び生活指導や保護者への相談の実施で、児童の育成支援ができています。次年度より施設名称の変更に伴い、対象者、利用者の拡大に努める。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント